

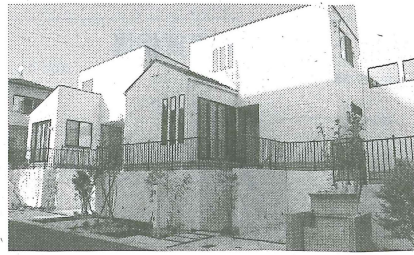
中央住宅

建売のイメージから脱却

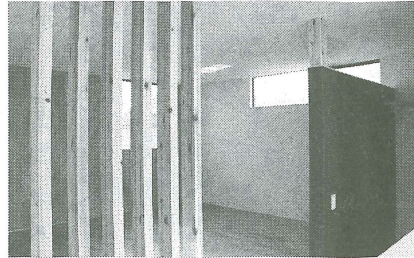
DINKs向け分譲住宅に脚光

ポラスグループの中央住宅（埼玉県越谷市）が販売している千葉県松戸市総台の分譲住宅は建て売りの固定概念から脱却した商品設計を施し、

住宅購入検討者からの関心を集めている。立地は新京成電鉄のり台駅から徒歩7分。分譲住宅計18棟のうち4棟をDINKs向けの物件として



松戸市のDINKs向け分譲住宅外観（2棟）



主寝室。ドアを設けずコスト削減を図った

販売。昨年12月からウェブサイトで告知を開始し、既に4棟のうち2棟が販売済みだ（4月30日時点）。

この4棟は、建て売りはファミリー向けというイメージから脱却している。4月30

日に見学した2物件は在来工法の2階建て、土地面積が120㎡、建物面積が79㎡と83㎡とコンパクト。間取りは1LDK（有償工事で2LDKにも対応可能）とした。

プランは共働きを想定。朝の忙しい時間に対応できるダブルシンクのパウダールームを設ける一方、バルコニー、主寝室やリビングのドアを設けず、ファミリー向けよりも

価格を500万円抑えた。販売価格は3780万円。コロナ禍を配慮してチラシ等の配布は行わなかったが、現在でも毎週2、3件の見学者が訪れるなど反応はよい。

今回の物件は仲介も行う同社ならではの発想だ。不動産開発部企画設計課の村田嵩胤課長は「物件の購入後、子供がでずにママ友の輪に入れないケースが20棟のうち1棟ぐらいは出てくる。当社に相談できず、他社に売却されることもあり、地域密着のポラスグループだからこそ、こういうお客様に対応すべき」と企画の背景を説明した。将来的な家族構成の変化による住み替え、賃貸としての貸し出しも想定している。